

辛味果実の発生しないシシトウ新品种‘ししわかまる’

1. はじめに

本県のシシトウは、出荷量が全国3位であり、県内各地の山間部を中心に栽培されています。しかし、シシトウは、栽培条件によって辛味果実が発生し、問題となっています。

そこで、当センターでは、京都教育大学との共同研究により、辛味果実の発生しないシシトウ新品种‘ししわかまる’を育成しました。

2. 育成経過 (図1)

平成25年に在来品種‘紀州ししとう1号’と辛味成分を合成しない特性を持つピーマン‘京ひかり’を交配し、さらに平成25年～28年にかけて‘紀州ししとう1号’を6回連続戻し交雑を行いました。辛味形質については、DNAマーカーを利用し、‘京ひかり’由来の非辛味遺伝子を有する個体を選抜しました。平成29年～令和元年にかけて、DNAマーカーにより辛味果実が全く発生せず、果実品質や収量性の優れた個体・系統の選抜を行いました。そして、令和元年に‘ししわかまる’を最終選抜し、令和2年3月に品種登録を出願し、同年7月に出願公表となりました。

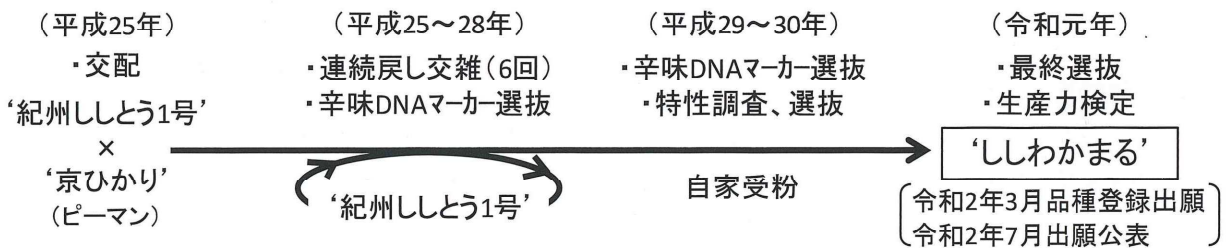


図1 ‘ししわかまる’の育成経過

3. 品種特性

- 1) 果実の大きさ、色、形などの外観形質は、‘紀州ししとう1号’と同等です(表紙)。
- 2) 収量や秀品率は、‘紀州ししとう1号’と同等です(表1)。
- 3) 辛味成分を合成する遺伝子を持たないため、辛味果実は発生しません(データ省略)。

表1 ‘ししわかまる’と対照品種の収量特性

品種	収穫果実重(g/株) ^z					収穫果実数 ^z (果/株)	1果実重 ^y (g/果)	秀品率 ^x (%)
	6月	7月	8月	9月	合計			
ししわかまる	102	2,472	2,447	1,714	6,735	1,369	4.9	37.8
紀州ししとう1号	96	2,313	2,363	1,666	6,438	1,308	4.9	35.7
京ひかり	215	3,010	3,925	2,613	9,764	420	23.2	72.8

注) 露地トンネル作型において実施。定植日: 令和元年5月8日、調査株数: 1区3株の3区制。調査期間: 収穫開始～9月30日。

^z長さ6cm以上の果実の合計。^y収穫果実重の合計/収穫果実数。

^x収穫果実数に占める曲がりや凹凸のない形の良い秀品果実数の割合。

4. さいごに

‘ししわかまる’は、辛味果実が全く発生せず、シシトウとしての果実形質を有する新品种です。令和3年作以降、県内産地での栽培を開始する予定であり、辛味の出ないシシトウ品種として産地への導入や新たな販路拡大が期待されます。(育種部 田中 寿弥)